

福井県公安委員会 開催概要

令和3年3月5日開催 「定例公安委員会」



会議状況

1 運転免許の処分関係

本日（3月5日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取8件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。

2 事務概況報告

県警察から坂井警察署の業務推進状況等について報告があった。

3 包括的案件

〈報告事項〉

（1）政治団体構成員による恐喝未遂等事件の検挙

県警察から、昨年9月に検挙した政治団体構成員による恐喝未遂等事件について報告があった。

委員から「警察本部と警察署の連携により、県外の過激な活動を行う政治団体の構成員を検挙したことは非常に良かったと思う。各企業からは被害申告が出にくいということなので、しっかりとした広報啓発活動をお願いしたい。」との発言があった。

委員から「非常に難しい事件を検挙できたことで、更に同様の事案への取組に期待したい。県警察の企業への力強いサポートにより、企業側も反社会的な政治団体に対し、安心して対応することができると思う。」との発言があった。

委員から「なかなか表に出てこない事件だと思うが、警備事件指定捜査員制度を初運用し、大規模な捜査を展開したということで、素晴らしい成果だと思う。今回の検挙等を積極的に広報していくことで、不当要求の抑止に繋がっていただきたい。」との発言があった。

（2）「治安に関する県民意識調査2020」の実施結果

県警察から、令和2年11月に行った治安に関する県民意識調査2020の実施結果について報告があった。

委員から「意識調査は平成18年から2年毎に行われているということで、県民が自県の治安を意識する良い機会にもなり、大変有意義な取組だと思う。この結果を参考に、更なる治安向上に努めていただきたい。」との発言があった。

委員から「概ね治安については良いという意見が多く、良かったと思う。結果からの問題点については、検討を重ねて今後の新しい安全・安心プログラムに反映させてほしい。」との発言があった。

委員から「県民が盤石な治安基盤と評価している中で、北陸新幹線や中部縦貫自動車道の開通に伴う都市圏との交流の増加に対し、この治安をどう維持していくか、更にどう向上させるかが重要になってくると思う。」との発言があった。

4 個別決裁等

(1) 安全・安心ふくいプログラム2021-2022概要

本年度から2年間を目途に取り組む『安全・安心ふくいプログラム2021-2022』の概要について説明を受けた。

(2) 押印等の見直しに伴う関係規則、規程の整備

押印等の見直しに伴う、関係規則及び規程の整備に関する規則及び規程の策定について説明を受け、これを決裁した。

(3) 責任者講習の実施に関する規程の一部改正

暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に係る責任者講習の実施に関する規程の一部改正について説明を受け、これを決裁した。

(4) 警察職員の援助要求

4県の公安委員会に要請していた警察職員の援助要求について、各都府県公安委員会より受託を得たことについて、また16都府県公安委員会に対し要請する警察職員の援助要求について報告を受け、これを決裁した。